外国人児童生徒のための 放課後支援ボランティア養成

公益財団法人浜松国際交流協会(HICE) 内山夕輝



HICE事業体系

■多文化共生のまちづくり

(在住外国人支援)

- 重多文化共生総合相談
 - ・日本語学習支援 新地域日本語教育体制づくり(文化庁事業)
- 重外国につながる次世代支援
 - ・地域共生
- **重**多文化防災
 - ・多様性を生かしたまちづくり

■ グローバル人材育成 (国際交流・理解)

- ・グローバル人材育成・活用
- ・国際理解教育推進
- ・外国語講座
- ・国際交流・多文化体験

運営受託 <u>多文化共生センター</u> (相談業務が主)

<u>外国人学習支援センター</u> (日本語教育が主)

■市民活動支援

- ・ボランティア活動支援(ボランティアバンク運営)
- · 国際交流活動支援(助成金)
- ・ネットワーク会議

■情報提供・収集

- ・機関紙HICE NEWS
- ・ホームページ
- Facebook
- ・情報カウンター



外国人学習支援センター(U-ToC)の設立

U-ToCは、浜松市が多文化共生社会の実現を目指して 2010年1月に開設した外国人の学習支援に特化したセンターです。 HICEは11年度目のセンター事業運営を国際課より受託。

- 1. 日本語教室
- 2. ボランティア養成講座
- 3. 多文化体験・交流
- 4. 支援者のためのポルトガル語講座
- 5. 地域日本語学習支援
- 6. 外国につながる次世代の学習支援

開設当初は4本柱で スタート ___



2014年度から

6本柱になりました

全事業市民協働

全講座受講無料

日本語教室には託児有(無料)

U-ToCが目指す方向性

安定した 就労 👵

保護者として

地域活動

ボランティ ア活動 。

ビジネス 展開 。

学習者の社会参画を支援

多様な人材として地域で共に活躍するために

日本語教室(16歳以上)

- ·HAJACシステム の導入
- ·初級プロジェクト ワーク
- ·読み書き支援の 充実

支援者の 育成

- ・ボランティア養成 講座
- ・日本語教師スキルアップ講座
- ・支援者のためのポルトガル語講座
- ·教職員多文化共 生講座

多文化理解 多文化交流

- ・おしゃべりタイム 多文化体験講座
- ・多文化イベント

地域日本語 学習支援

- ・ネットワーク会議
- ・ボランティアコー ディネ*ー*ト
- ・外国人コミュニ ティ主催の日本語 教室支援

次世代の 学習支援

- ・不就学ゼロ作戦
- ·就学促進事業
- ・キャリア支援事業

浜松市における教育行政の役割分担

不就学ゼロ作戦事業

教育委員会

日本の高校(全日制 3年間) 日本の小学校 日本の中学校 (6年間) (3年間) 日本の高校(定時制 4年間) 就職 ブラジル人学校(初等 I 5年) ブラジル人学校(初等Ⅱ4年) ブラジル人学校(中等3年) ペルー人学校(中学部1~5年) ペルー人学校(小学部 6年) 就学支援教室 (原則6ヶ月間まで在籍可) 子供のための学習支援教室(NPOフィリピノナガイサ、静岡県ベトナム人協会) 地域日本語教室(NPO、U-ToCなど)

浜松市における外国人児童生徒の支援状況

主管	場所	支援者•教室名、事業名等	内容
市教委	校内	初期適応サポーター(ポ・ス・タ・中・ベ・ネシア・英)	バイリンガル支援者を派遣 初期適応支援(1日4時間×10日)
市教委	校内	就学支援員(ポ・タ)	バイリンガル支援者を多数在籍校に常勤配置 初期適応指導、市内14校
市教委	校内	 就学サポーター(ポ・ス・タ・中・ベ・ネシア・英) 	日本の学校に編入後2年までの児童生徒の多数在籍校に 曜日を固定して派遣、入り込み学習支援、市内46校
市教委 (NPOへ委託)	校内	日本語•学習支援者	必要に応じて派遣(NPOへ業務委託) 日本語基礎(70時間、~5か月間)
市教委	校内	外国人児童生徒教科指導員	JSLカリキュラムの実施、個別の指導計画作成等 小学校13校、中学校17校に派遣
市教委	校内	外国人児童生徒相談員(ポ・ス・タ・英)	派遣による通訳、面談や、指導相談等
市教委(業務委託)	校内	プレスクール	新小学1年生とその保護者対象。2~3月の土曜に8回予定
ボランティア (HICE連携)	校内	放課後学習支援教室	日本語ボランティア養成講座修了生等による放課後学習支援(宿題支援) 市内6校
市教委 (NPOへ委託)	校外	母国語教室	ポ·ベ·ス語の母国語教室(業務委託) 1回2時間×27回×3言語
市国際課 (HICEへ委託)	校外	子供のための学習支援教室(フィ・ベ)	外国人コミュニティによる子供学習支援教室(業務委託) 1回2時間×35~36回×2教室
県立高校 (県教委へ申請)	校内	学習支援教室	定時制高校での日本語支援教室 1回1~1.5時間(週1回) HICEから講師派遣等

参考: 浜松市HP外国人子ども教育推進事業説明資料(R1.5) https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/shido/gaikokunitunagarukonosien/documents/010501.pdf

日本語ボランティア養成講座(U-ToC事業 HICE受託)

目的:市民への多文化共生理解促進。地域日本語教室や放課後学習支援教室で寄り添いボラ

ンティアの活動を行う仲間を増やす(人材獲得)

時間数:年間2期 (1期=1.5時間×16回)

費用:無料定員:20人

【カリキュラム】

1	ガイダンス、浜松市の現状	国際課職員
2	異文化理解体感ワークショップ(開発教育)	はままつ国際理解教育ネット
3	外国語学習体験	在住外国人+日本語教師
4	外国人学習者の声 (日本語を習得した工夫やこんな支援があったらうれしい等)	在住外国人(U-ToC修了者)
5	日本語文法への入口(日本語と国語の違い)	日本語教師
6	日本語教室実習オリエンテーション U-ToCの日本語教室の変遷	HICEスタッフ
7	ピア・サポート ワークショップ	ピア・サポートコーディネーター
8	やさしい日本語	日本語教師

9	ボランティア体験① (読み書きクラス、おしゃべりタイム)	外国人学習支援センター(U-ToC)
10	浜松市における外国人児童の現状	浜松市教育委員会
11	ボランティア体験②(放課後学習支援)	市内小学校①
12	ボランティア体験③(放課後学習支援)	市内小学校②
13	子ども達のその後① 外国人青少年の現状	NPO法人(学習支援)スタッフ
14	子ども達のその後② 社会人ロールモデルの体験談	在住外国人
15	ひょうたん島問題から多文化共生を考える	はままつ国際理解教育ネット
16	ボランティアガイダンス	HICE スタッフ

特徴:講座の主たる目的が受講者(市民)への多文化共生理解促進のため、受講内容に日本語の教え方指導を含んでいない。受講者がボランティア活動を始めるきっかけ(入口・人材掘りおこし)の場。また、U-ToCで日本語を学んだ学習者が講座を担当し、活躍の場を作っているのも特徴の一つ。

特に力を入れている点:

- ①修了後の出口支援。修了者と放課後学習支援団体とのマッチングや(初回動向も)、活動を始める上での相談対応等。
- ②年間2期のうち、1期を放課後学習支援教室ニーズのある地域で行い、その地域の掘り起こしを行う。
- ③放課後学習支援団体との連携を密にし、年に一回、放課後学習支援団体情報交換会を行なっている。

市内放課後学習支援団体一覧

H30放課後学習支援団体情報交換会にて

団体名	А	В	С	D	Е
支援者数	17人	7人	登録22人 活動7~10人	登録24人 活動10人	20人
活動場所	A校	B校	C校	D校	E校
活動曜日	月・火・木・金	火・木	火・木	火・金	月・木
活動時間	14:35~15:35	14:40~16:30	1,2年 14:30~15:05 3,4年 15:20~16:00	火 14:35~15:05 火 15:30~16:10 金 14:10~14:40 金 15:05~15:45	A 14:10~15:35 B 14:10~14:55
活動内容	宿題支援	宿題支援、漢字検定	宿題支援	宿題支援	宿題支援
支援児童数 (学年)	1.2年 22人	1~5年 5人	1年 7人 2年 14人 3年 9人 4年 9人	火 1~6年 31人 金 2~6年 24人	月 1~3年 金 4~6年
支援方法 固定/都度/ 一斉	ボランティアが巡回 担当教員2名	マンツーマン	ボラ1人:子供3人位 その都度マッチング	ボラ1人:子供3人位 その都度マッチング	マンツーマン (時々、校長や担任が 巡回)
備考	月一回例会。その日の当番 がメールで毎回情報共有。		1年生は入学してから10月 まで休み	マッチングはこれまで担当 教員が行っていたが、今年 度はなし。夏休み宿題支援 も行った。	各学期毎に学校と反省会 毎月グループで反省会 9

放課後学習支援団体情報交換会

開催時期:12月末頃

参加者: 放課後学習支援団体の代表

教育総合センター指導主事

HICEコーディネーター

内容: 2学期までの活動状況共有、意見交換等

昨年度は、スキルアップ講座を同時開催

参加者:19名

内容:教育行政について、宿題のポイントについて等

感想:ほぼ期待通り、今後もこのような研修を受けたい、

他の団体がどういう活動をしているのか知りたいという

声があがった。



参加費無料

文部科学省委託 外国人児童生徒等教育を担う教員の養成・研修モデルプログラム圏発事業

支援者のためのスキルアップ講座

放課後学習支援者のための学校理解講座

放課後学習支援を行う上で気づいた点について一緒に考えてみませんか?

ポイントを 知りたい!

宿題をみる

休み時間や放課

後、先生達は何

教育行政や校内組織の仕組みを理解すると、 活動の目的の確認にもなり、

楽しんで活動ができるようになりますよ。 また、子供たちが学習に参加できるように なるための支援(スキャフォールディン グ)についても学びます。

どんな支援を すれば良いの かなぁ?

日 程:平成30年12月25日(火)

時 間:13時30分~15時

場 所:浜松市外国人学習支援センター

講 師:髙畠美保氏

(浜松市教育総合支援センター指導主事)

受講料:無料

定 員:20名(先着順)

申 込:裏面の申込用紙をファックス(053-592-1179)で

送ってください

お問い合わせ

兵松市外国人学習支援センター(U-ToC

住所:浜松市西区雄踏町宇布見9611-1 TEL:053-592-1117 FAX:053-592-1179

人材養成

- •子供に寄り添う姿勢
- •キーパーソンの養成

研修の実施

- ・意欲の維持
- ・支援団体内での研修

放課後学習支援における課題

人材確保

- •活動地域
- •活動時間

コーディネートスキル

- 学校内での位置付け
 - •活動資金の獲得